

メジロファントム



1975年5月1日生 牡 鹿毛
父:ロンバード 母:メジロハリマ(母の父:ネヴァービート)
浦河・吉田堅生産
調教師:大久保洋吉(東京→美浦) 馬主:北野俊雄氏



タイトルに挑み続けた不屈の戦士

メジロファントムのデビューは1977年暮れ。2戦目で2着に10馬身差をつけて勝ち上がり、1978年春には後の皐月賞馬ファンタストや日本ダービーを勝つことになるサクラショウリと好勝負を演じるなど、将来に期待の持てる歩みを続けていた。が、クラシック本番の前に骨折。メジロファントムの苦難が始まることになる。

復帰初戦の条件戦を勝ち、翌1979年の東京新聞杯で重賞初制覇を果たしたメジロファントム。だが宝塚記念はサクラショウリの5着、天皇賞(秋)はスリージャイアンツに差し返されてハナ差2着、有馬記念はグリーングラスを追い詰めたものの、またしてもハナ差2着と惜敗のシーズンを送る。この年に先頭ゴールを飾れたのは、東京新聞杯と条件戦のサファイヤステークスだけだった。1980年も天皇賞(秋)が大逃げを打ったプリティキャストから7馬身遅れての2着、1番人気に推された有馬記念では追い比べの末にハウヨウボーイの4着など4連敗、栄冠は遠いまだ。

1981年も同様だ。直線でいったんは先頭に立った天皇賞(春)では、内からカツラノハイセイコ、外からカツアールに交わされて3着、宝塚記念もカツアールの3着に敗退。秋も天皇賞(秋)はハウヨウボーイの7着、ジャパンカップはメアジードーツの11着、有馬記念はアンバーシャダイの10着と、いずれも見せ場すら作れずに終わる。1982年、直線半ばで差し切った目黒記念(秋)で3年2か月ぶりの勝利をあげたものの、有馬記念はヒカリデユールの10着。1983年は天皇賞(春)がアンバーシャダイの4着、宝塚記念がハギノカムイオーの8着。結局GI級レースは未勝利のまま引退の時を迎える。

そう、大舞台で主役の座に躍り出ることはなかった。

それでも、ある時は大外強襲、またある時は直線で堂々と渡り合う戦いで昭和期を代表する強豪たちにメジロファントムは食らいついていった。実は1982年に3度目の骨折を負い、これは完治すら危ぶまれる重傷だったのだが、不死鳥のごとく復活して目黒記念(秋)を制している。有馬記念には5年連続、天皇賞は春秋通算6回出走と長く第一線で活躍。精神的・肉体的なタフさは讃えられるべきだろう。引退後は東京競馬場で誘導馬となり、日本ダービーでも先導役を務めた。誘導馬からも退く1995年まで、生涯44戦の現役時と同様、長くビッグレースを盛り上げ続けたのである。

その蹄跡は、苦難と呼ぶよりもむしろ、バイプレーヤーとしての輝きに満ちたものだったといえるのかもしれない。

1979年★第80回天皇賞(秋) ゴール前は完全に2頭のマッチレースとなったが、スリージャイアンツ(帽色・緑)がメジロファントム(帽色・赤)をハナ差抑えて勝利を飾った。



1982年★第95回目黒記念(秋) 直線で鋭い末脚を披露したメジロファントム(帽色・橙)が優勝。じつに3年2か月ぶりとなる勝ち星をあげた。

年月日	場	レース名	距離	着順	タイム	騎手
1977.12. 4	中山	3歳新馬	芝1200	7	1:13.9	宮田 仁
12.18	中山	3歳新馬	芝1600	1	1:37.4	宮田 仁
1978. 1.15	東京	京成杯	芝1600	2	1:37.1	宮田 仁
2.12	東京	東京4歳S	芝1800	4	1:51.2	宮田 仁
3. 5	中山	報知杯弥生賞	芝1800	3	1:52.0	宮田 仁
11.25	東京	白富士賞	芝1600	1	1:36.5	宮田 仁
12.17	中山	有馬記念	芝2500	13	2:34.7	宮田 仁
1979. 1. 5	東京	日刊スポーツ賞金杯	芝2000	2	2:00.7	宮田 仁
2. 4	中山	東京新聞杯	芝2000	1	2:02.0	宮田 仁
3.11	中山	中山記念	芝1800	5	1:49.8	宮田 仁
4. 1	中山	ダイヤモンドS	芝3200	6	3:21.5	宮田 仁
4.22	東京	京王杯スプリングH	芝1800	3	1:48.0	宮田 仁
6. 3	阪神	宝塚記念	芝2200	5	2:12.8	横山富雄
6.24	阪神	高松宮杯	芝2000	3	2:00.2	横山富雄
8. 5	函館	巴賞	芝1800	5	1:51.5	横山富雄
8.19	函館	函館記念	芝2000	4	2:00.3	横山富雄
9.29	東京	サファイヤS	芝2000	1	2:03.8	横山富雄
11. 4	東京	目黒記念(秋)	芝2500	4	2:33.0	横山富雄
11.25	東京	天皇賞(秋)	芝3200	2	3:33.5	横山富雄
12.16	中山	有馬記念	芝2500	2	2:35.4	横山富雄
1980. 9.21	中山	毎日王冠	芝2000	6	2:02.5	横山富雄
10.25	東京	4歳以上オープン	芝1800	3	1:54.6	横山富雄
11.23	東京	天皇賞(秋)	芝3200	2	3:29.2	横山富雄
12.21	中山	有馬記念	芝2500	4	2:34.2	横山富雄
1981. 1.18	中山	アメリカジョッキークラブC	芝2500	3	2:38.1	横山富雄
2.15	東京	目黒記念(春)	芝2500	9	2:35.4	横山富雄
4. 4	阪神	サンケイ大阪杯	芝2000	4	2:07.4	横山富雄
4.29	京都	天皇賞(春)	芝3200	3	3:21.5	横山富雄
6. 7	阪神	宝塚記念	芝2200	3	2:14.4	横山富雄
6.28	中京	高松宮杯	芝2000	5	2:04.0	河内 洋
10. 4	東京	毎日王冠	芝2000	3	1:59.5	横山富雄
10.25	東京	天皇賞(秋)	芝3200	7	3:20.1	横山富雄
11.22	東京	ジャパンカップ	芝2400	11	2:27.1	横山富雄
12.20	中山	有馬記念	芝2500	10	2:37.6	横山富雄
1982. 9.12	函館	UHB杯	芝1700	3	1:43.5	的場 均
10.10	東京	毎日王冠	芝2000	8	2:02.6	郷原洋行
10.31	東京	天皇賞(秋)	芝3200	6	3:18.7	郷原洋行
11.21	東京	目黒記念(秋)	芝2500	1	2:36.4	的場 均
12.26	中山	有馬記念	芝2500	10	2:37.8	的場 均
1983. 1.23	中山	アメリカジョッキークラブC	芝2500	3	2:35.5	的場 均
2.20	東京	目黒記念(春)	芝2500	7	2:38.0	的場 均
4. 3	阪神	サンケイ大阪杯	芝2000	5	2:03.6	的場 均
4.29	京都	天皇賞(春)	芝3200	4	3:23.4	的場 均
6. 5	阪神	宝塚記念	芝2200	8	2:14.7	的場 均

※レース名は当時の表記による